ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

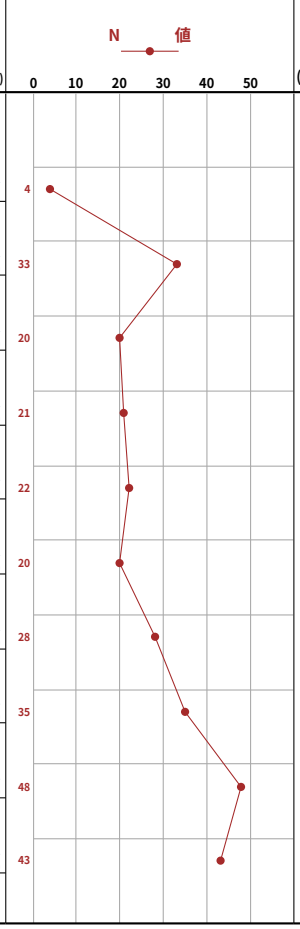
シートNO.

ボーリング名	B-2	調査位置								北　緯	36 ° 22 ' 05.0000 "
発注機関	栃木県足利土木事務所河川防災部					調査期間	2007-11-13 ～ 2007-11-15			東　経	139 ° 28 ' 53.0000 "
調査業者名		主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	50.44 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具
総掘進長	10.45 m								エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	48.64	1.80	1.80		盛土 (BS)	暗褐			礫混り砂質粘性土による盛土 所々に多量の礫混じる 径φ＝10～80mm、玉石の最大径φ＝130mm		
	44.59	4.05	5.85		玉石混り砂礫 (GS-B)	黄褐灰	中ぐらい～密な		礫径φ＝3～25mmの亜角礫主体 径φ＝25～80mmが混じる 所々に玉石が点在 削孔すると若干逃水 若干、崩壊する		11/15 2.40
	39.99	4.60	10.45		粘土混り砂礫 (GS-C)	黄褐灰	中ぐらい～密な		礫径φ＝3～25mmを主体 径φ＝25～85mm程度が混じる 6.50～6.85m、粘土を挟む 削孔すると若干逃水 若干の崩壊性あり		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	1		4	4
1.46	14	7	1	31	
2.15	12	10	11	33	33
2.45				30	
3.15	10	6	4	20	20
3.45				30	
4.15	6	8	7	21	21
4.45				30	
5.15	6	8	8	22	22
5.45				30	
6.15	6	6	8	20	20
6.45				30	
7.15	8	9	11	28	28
7.45				30	
8.15	11	11	13	35	35
8.45				30	
9.15	22	16	10	48	48
9.45				30	
10.15	15	17	11	43	43
10.45				30	



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						11/13
						11/14